



NPO 法人 世界

2022 6月号

「激動する世界」

ロシアのウクライナ侵攻には、本当に驚かされました。国連の常任理事国で、なおかつ世界最強の核大国であり、軍事大国のロシアが隣国のウクライナへ軍事侵攻し、子供を含む一般市民を多数虐殺し、学校や病院、一般国民の住居などを破壊することなど、まったく信じられない蛮行です。1944年から1945年にかけて、太平洋戦争で日本全国の都市が「焼夷弾」によって焼け野原となったのを思い出しました。なんとしても、一日も早い停戦とロシア軍のウクライナからの撤退が実現することを、心から願うばかりです。皆様もまったく同じ気持ちだと思います。

この夏の参議院選挙は、今までの選挙と全く違う意義を含む選挙だと思います。それは、ロシアが、ウクライナと同じく、我が国・日本の隣国だからです。

ロシアに実効支配されている、北方領土（国後島・択捉島・島歯舞群島・色丹）の二番目に大きな国後島（クナシリ）は知床半島と根室海峡をはさんで位置しており、約12000人のロシア人が住んでいます。根室市納沙布岬から肉眼で見ることができるよう近距離に位置しています。5月19日に、観光船事故の被害者の遺体が流れ着いたとの情報がありました。

現在、日本は、G7（先進7か国）の一員として、ウクライナを全面支援しています。そして、今までかつてないほどの厳しい経済制裁をロシアに課しています。ロシアにとって日本は、すでに敵国となっているのです。かつてのロシアは、第二次世界大戦のとき、日本が敗戦を認め、ポツダム宣言を受諾する直前に、日本に宣戦布告し、旧満州北部、南樺太へ侵攻し、約50万人を超える捕虜を極寒のシベリヤへ抑留しました。



このような歴史的事実を踏まえた上に、ウクライナ侵攻を重ね合わせると、日本の安全保障の危うさがわかると思います。

ロシアのウクライナ侵攻が長期化する中で、何が起きるかわからない状況であり、北朝鮮の核保有化やミサイルの実戦配備が現実のものとなる中で、日本の安全保障はいかにあるべきかを問われることとなります。

先日、岸田総理・自民党総裁と公明党山口代表の会談がありました。このとき岸田総理から「今回の参議院選挙は、自民・公明両党が力を合わせて、勝利しなければならない」との発言がありました。両党首が、参議院選挙で与党が圧倒的な勝利をし、国民の絶対的な支持を得なければならぬとの決意を表明したのです。日本の安全保障を脅かすような現状を踏まえて、圧倒的な国民の支持を得たうえで、国民の生命と財産を守るために、的確な対応をとる必要があると思います。



2022年6月3日
NPO法人世界理事長 中田 選

北前船寄港地フォーラムイン秋田 (3月18日・19日)

北前船寄港地フォーラムイン秋田が秋田キャッスルホテルで開催。共立メンテナンスPKP事業本部伊藤本部長、金築営業顧問、中田理事長が参加しました。



新春神楽大会 (4月3日)

中国放送・RCC文化センター主催の「広島神楽新春競演大会」が行われました。斉藤国土交通大臣、広島神楽芸術研究所林理事長、中田選理事長が激励に駆け付けました。



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合理事会に出席 (4月22日)

・NGP日本自動車リサイクル事業協同組合理事会に斉藤国土交通大臣小堀秘書と参加し、挨拶をしました。
・中国大使館訪問。倪健公使参事官・馬国良一等書記官と面談。小堀秘書同行。

JU中四国総会を開催 (5月23日)

JU中四国総会が広島リーガロイヤルホテルで開催されました。斉藤国土交通大臣稲田秘書と中田理事長が出席し、挨拶しました。



北前船交流拡大機構第6回記念祝賀会 (5月27日)

北前船交流拡大機構第6回記念祝賀会が東京品川プリンスホテルで盛大に開催されました。斉藤国土交通大臣、共立メンテナンスPKP事業本部伊藤本部長、金築営業顧問、中田選理事長が参加しました。五木ひろしさんがCD「北前船」の発売を記念して熱唱しました。



2022年度定例会 式次第

- 司会 向井清秀
- 開会挨拶 向井清秀
谷合正明参議院議員・公明党参議院幹事長
- メッセージ代読 向井清秀
- 理事長挨拶 中田選 理事長
- 会員報告
広島県郷土芸能の宝「広島神楽」について
広島神楽芸術研究所 林秀樹理事長
- 挨拶
斉藤国土交通大臣代理 —— 稲田隆則政策秘書
平口洋衆議院議員代理 —— 平口議員夫人
日下正樹衆議院議員代理 —— 木口勇二秘書
※日下議員は、昨年の衆院選で公明党候補として中国比例区で初当選されました。木口公設秘書は司法書士でNPO世界の現会員です。
- 広島県議会 —— 中原好治副議長
※3月定例会で副議長に就任されました。
- 広島県議会 —— 栗原俊二議員
広島県議会 —— 緒方直之議員
- 会長挨拶 貝川健一 会長

2022年4月

定例会の様子

